



# 東京歯科大学広報



教職員に向けて年頭の挨拶をする井出吉信学長：平成25年1月7日（月）、千葉校舎講堂

## 癸巳（みずのとみ）

平成25年1月

平成25年1月7日（月）午前9時、本格的な移転を迎える千葉校舎の新年は、講堂の席を埋めた教職員を前に、学校法人を代表した金子 譲理事長の挨拶から始まった。続いて壇上に立った井出吉信学長は、建築中の水道橋新館工事の進捗状況と本館の改修過程を示すスライドを背に、そこで働く人たちの大切さと、何よりも次の世代の人材育成の重要性を力説し、新たな校舎の建設を含む水道橋校舎の二次計画への展望を示した。

7月の終わり、千葉校舎での授業は終了し、いよいよ、基礎と臨床の講座・研究室と事務系の大移動が始まることになる。

2012年12月  
2013年 1月  
**258号**

### 本号の主な内容

- ・平成25年金子 譲理事長年頭の挨拶 ..... 2
- ・平成25年井出吉信学長年頭の挨拶 .....4
- ・水道橋病院3階高度歯科医療センター保存科・補綴科完成式.....8
- ・東京歯科大学学長の選任並びに法人役員の選任について（報告）…9
- ・2012年の回想&2013年の抱負 ..... 21

**■平成25年金子 議理事長年頭の挨拶**

皆さん、おめでとうございます。

暮れから天気は良かったのですが、非常に寒くて、特に東北地方は大変だったと思います。幸いにして大きな事故もなく、正月は終わりました。

**【移転について】**

今年、基礎系の教室から移転が始まります。東京歯科大学120数年の歴史の中で、創立初期に教育の場所が何回か変わっていますが、水道橋に定着後、30年前に稲毛へ移転しました。稲毛移転の際は、非常に多くの会議を行ったということですが、今回の水道橋移転は法人で決まっていたので、教授会始め各種委員会では、移転の是非を論じるよりも、ほとんどが個別の移転作業のための会議であったと思います。

水道橋病院は施設として独立していますので、千葉からの臨床面における移転問題をどのように解決するかが課題です。また人的な問題はこれから学長が細かい考えを早々に皆さんにお伝えすると思います。

水道橋への移転により、住まいを別のところに求めなければいけない方もいると思います。学生の皆さんはメインキャンパスが水道橋でも、実習のために稲毛や市川総合病院へ行きますので、都内の西の方に居住をとると不便になるかもしれません。このように移転には種々の課題があります。

**【学務と法人の経営】**

私が法人理事長に専従して一年半になります。法人を皆さんに見えやすい形にしたいと思っています。大学運営の方針は、法人の理事会が評議員会のチェックを受けながら決定していくと法律で定められていますので、その法に準拠して運営したいと思っています。大学の運営方針が伝われば、皆さんが現場で学長が言っている内容を具体的に理解でき、言われたことだけでなく、能動的に自分で考えて仕事ができると思うのです。

学校運営、または経営において学生教育の問題は不可欠です。大学は皆さんが色々な立場で学生を一人前に教育する場です。ただ知識を与えて大学から出すだけなら、昔の検定という制度と同じです。何年か個別に臨床を経験して、国の試験を受けて合格すれば、医師、または歯科医師になれるという制度です。検定は大正まで続きました。検定とは学校ではなく予備校に行くことです。大学はそういう類のものではありません。

本学は臨床医になろうと思っている人が多いので、臨床教育がしっかりしていないと、良いレベルの歯科医師の基盤はできないはずですが。

現状では国家試験の成績は非常に良く、多くの方から高い評価をいただいております。これは皆さんの努力のお陰です。本学を始めどの大学でもこのレベルに上げることは非常に大変なのですが、東京歯科は常に良いレベルにいます。ただ国家試験だけではなく、特に臨床の先生方の臨床力がないと最終の教育はきちんとできません。一人ひとりの臨床医がきちんとした診断やProcedure（手技）を学生に教えることが重要ですが、それは個別の先生方の臨床力がないと伝えられないのです。医学部でも歯学部でも、学校教育の目的が国家試験合格を目指すこととなっている大学が幾つもあります。必然的に、臨床教育は疎かになってしまいます。具体的な話になりますが、今のCBTを国家試験の前期試験にし、その後2年間臨床教育をしっかりして、臨床評価をしようという要望が全国の国公私立医学部長病院長会議で話し合われているようです。一人前の歯科医師の基盤を作るというところに基点を置くのは当然ですが、東京歯科がより良いレベルに向上するためにも、その対策を学長始め、皆さんにお考え頂きたいと思います。法人の



立場から言えば、このような対策がそのまま経営につながります。以前から申し上げているように、学務と法人の経営は表裏一体なのです。私は学務は経験していますが、経営に係わって日が浅いので、足りないところを皆さんの力や専門の知識で補って、何とかやっているということです。学校経営は学校教育法、教育基本法、私立学校法などの基盤の法律があり、さらに時代に合わせた答申が文科省、厚労省、大学審議会から出されますので、それをよく認識した上で、学校の方針を決めていきます。さらに大事なことは、東京歯科は私立ですので、建学の精神に則った教育、人材育成を考えます。皆さん、建学の精神を明確に言えますか？「歯科医師たる前に人間たれ」というのは創立者の言葉ではありません。創立者の高山紀齋先生はこの言葉を仰っていませんが、血脇守之助先生が一生懸命仰っていました。それをある時に、ある方が、その言葉を建学の精神として適切だろうということで、皆さんが賛同したのです。血脇先生の心がけ、血脇先生の精神を表している言葉です。血脇先生の精神とは何だろうということになりますが、それは皆さんが東京歯科大学の歴史をよく知ることで、具体的に分かってくると思います。

### 【法人の課題】

最後に法人が抱えている課題です。まずは移転、そして二次計画です。それから、歯科衛生士専門学校をどうするか、また稲毛の跡地をどうするか。これらの課題については将来計画検討委員会を設置いたしました。また、市川総合病院から看護学部新設の要望がきております。これを法人としてどのように対応するか考えております。また各大学が学納金を下げております。この問題に東京歯科がどう対応するかです。

法人は皆さんの生活を守る組織です。そのためにはきちんとした学校運営をするに足る財務基盤を確立することです。確立する為の方策の基本は教育、研究、診療の充実であり、病院収入、学納金、また国からの補助金やテナントなどの収益です。

競争の社会ですので、しっかり法人が気を引き締めないといけないと思っています。特に東京歯科は優秀な学生さんが応募してきますが、歯学部だけでなく医学部が大きな競争相手となっています。そのような中、歯学部で一番高い授業料をいつまで維持できるかが問題です。そして定員削減の問題があります。国を挙げて、歯学部学生の定員削減を要求しています。定員削減を行えばかなりの減収になります。今は皆さんが良い教育をして実績を出しているの、「定員削減はしません」とはっきり申し上げていますが、これから数年後をどうなるか見極めていかななくてはなりません。

このような課題に対して、一つ一つ緻密に計算して、運営しなければなりません。実際にこれらの課題に直面するのもまた皆さん個々の人です。ですから、皆さんが法人の運営方針を理解できる形にしていきたいと思っています。

これから一年間またよろしくお願ひしたいと思っています。今年は特に本学の歴史の上で大きな事業が始まります。学長の決定に、意を体して、協力していただきたいと思っています。どうもありがとうございました。

**■平成25年井出吉信学長年頭の挨拶**

皆さま、明けましておめでとうございます。

金子理事長からのお話にもありましたように、今年はいよいよ移転の年です。東京歯科大学は何回か移転を重ねておりますが、その度に大きく飛躍しておりますので、ぜひ飛躍の年にしたいと思っております。

昨年の年頭挨拶でも建物の進行状況をお見せしましたが、今年もこれからスライドでお見せしたいと思います。ただ決して建物ができれば良いというわけではなく、最後は其中で働く人です。良い人材を育てなくてはいけません。各部署・課、講座において、良い人材を育てていただくことが、一番の念願です。場所によってはなかなか良い後継者がいない場所もあり、苦労しているかと思いますが、まずは人材育成で頑張っていきたいと思っています。

では、これから建物の進捗状況をご説明したいと思います。

ご存じのように、本年度の新入生はさいかち坂校舎で授業しております。現在の2年、3年生は今年の夏休みに移転することになりました。4年生に関しましては、今まできちんと決まっておりましたが、教授会、父兄会にも了解を得て、平成26年4月に移転することになりました。現在の5年生は千葉校舎で卒業することになります。これが正式に教授会、理事会で決定したことです。

新しく建てている新館(仮称)の竣工式は7月19日(金)、移転祝賀式は8月31日(土)に行われる予定です。これには本日ご出席の皆さまにぜひ来ていただきたいと思っています。会場は東京ドームホテルで、大体1,000名入るところを予約しておりますので、ぜひ全員ご出席いただきたいと思っています。水道橋校舎の開校式は学生さんの開校式となります。今年の夏休みは少し延ばして、始まりを遅くし、9月2日(月)に開校式を行いたいと思っています。

既に1年生はさいかち坂校舎で授業を行っておりまして、地下1階では学生が自主的に勉強をしています(図1)。

本館(仮称)につきましては、昨年の8月に1階を改修し(図2)、2階には診療室ができました(図3)。



(図1) さいかち坂校舎地下1階



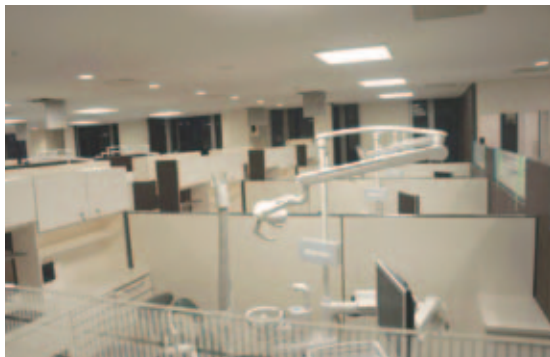
(図2) 本館1階 新総合受付



(図3) 本館2階 総合診療室

完成したばかりの3階を先週撮ってきましたが(図4)、3階は主に保存と補綴の先生方が診療していただくところです。少し広めに作られた診療室もあり、特診用で、教授の先生方が使われるかと思います。ユニットはオサダのユニットです。3階の保存と補綴の向かいに口腔インプラント科があります(図5)。こちらは口腔インプラント科の中待合室です(図6)。

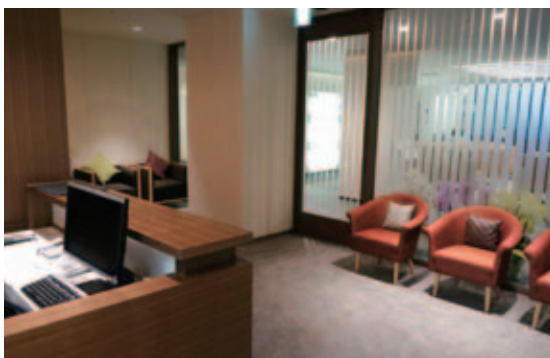
眼科も先々週受付ができ、横にオベ室ができました(図7)。元の内科のところは工事をし、広げているところです。



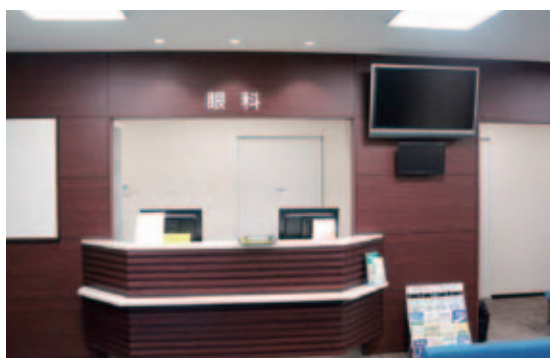
(図4) 本館3階 高度歯科医療センター 保存科・補綴科



(図5) 本館3階 高度歯科医療センター 口腔インプラント科前



(図6) 本館3階 高度歯科医療センター 口腔インプラント科中待合室



(図7) 本館3階 眼科受付

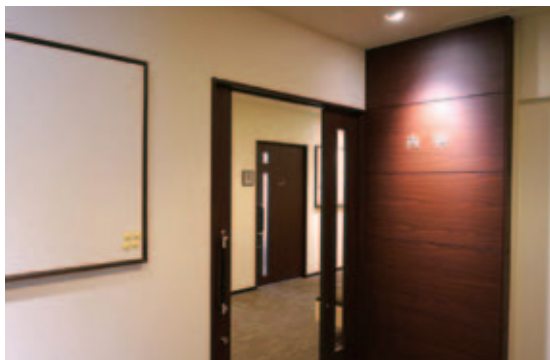
4階の口腔外科は昨年7月に出来上がりました(図8)。

5階の内科は診療室が2つ、4月からは奥のところに内視鏡室ができます。4月から学生さんが千葉から移動しますので、今までの水道橋の内科では少し狭いということで、新しく作られました(図9)。

9階から11階は講座の研究室です(図10)。講座の中で何をやっているかが良く見えるようになっています。大学院生が集えるような場所も計画しております。こちらが講座の中の教授室です(図11)。



(図8) 本館4階 口腔外科



(図9) 本館5階 内科

13階は昨年完成し、コンピュータが入っており、学生の試験、入試、またCBTが行われています(図12)。こちらの部屋は同窓会など、非常にたくさん使われています。現在、なかなか予約がとれない部屋となっています。

14階は先々週出来上がったばかりです(図13)。14階の半分のところの改修を行いました。12月28日(金)、水道橋はこちらの部屋で仕事納めを行い、この度衆議院に当選した白須賀先生がご挨拶に来てくれました。このようなちょっとしたパーティも行えるようになっていきます。血協記念ホールが完成したときには、その懇親会も14階を使っていただければと思っています。

新館(仮称)の航空写真です(図14)。先週の状況で、ここまで出来上がっています。こちらは11月に日大の方から撮影した写真ですが、昨年7月に購入したつるやビルのつるや産業のマークはこのように消しました(図15)。新館を正面から見た写真です(図16)。左に見える岡武ビルを6年生の自主学習用の部屋として計画しています。下に寿司屋が入っていますので、こちら也使えたらと思っています。

こちらは血協記念ホールです(図17)。昨年お見せしたものより、少しシックなデザインに変えました。



(図10) 本館9階 講座研究室



(図11) 本館9階 講座研究室内教授室



(図12) 本館13階 CBTルーム



(図13) 本館14階 大会議室



(図14) 新館航空写真



(図15) 新館建設工事現況(2012年11月24日現在)

来年の年頭のご挨拶はこちらで行います。階段のところは大分出来上がってきております(図18)。同窓のご寄付、教職員のご寄付は血脇記念ホールに集中して使わせていただこうと考えています。お陰様で、大学の方の目標額8,000万円は昨年12月に達成し、現在8,300万円ぐらい集まっています。皆さまに感謝しているところです。全面的に血脇記念ホールの内装や机等に充てたいと思っています。

先ほどご説明したつるやビルですが(図19)、半分ぐらいはテナントを入れ、このビルが独立的に赤字を出さないようにしていき、3フロアぐらいを学生用の学習スペースにしたいと思っています。本館にあったモリタの売店が行くところがなくなり、学生が色々な器材を買うのに困ってしまうので、1階の部分に学生用の売店を入れる予定です。地下が膳菜やという食べ物屋さんですが(図20)、学生のお昼に合うものを少し作ってもらいたいと思っています。

金子理事長からもお話がありましたように、二次計画、これができて、初めて移転完了です(図21)。研究室や診療室、特に臨床検査、放射線、口腔外科、麻酔の部分が少し面積的に足りませんので、5年以内に本館の後ろに6階建てぐらいのビルを作って、本館とつなげたいと思っています。現在1つのビル以外は全て購入できています。この二次計画を完成させ、移転事業を完了させたいと思っています。

何れにしても、このように建物は順調にできておりますが、何度も申します通り、最後は人です。教育機関でもあり、臨床機関でもあり、研究機関でもあります。暮れにもいくつかの会社の研究所の所長の方が来て、水道橋に大学が移るということで、一緒に研究をしたり、研究所の学位も手伝ってもらいたいという話がありました。水道橋という地にあるからこそ、便利になりますので、これから講座の先生方は他の研究所や、昨年暮れに協定を結んだ慶應義塾大学とも、臨床、教育、研究も一緒に行うことも考えていっ



(図16) 新館建設工事現況(2012年11月24日現在)



(図17) 新館 血脇記念ホール完成図



(図18) 新館 血脇記念ホール施工状況(2012年11月21日現在)



(図19) つるやビル



(図20) つるやビル1階

てください。

4月に向けて、人事等も病院長、大学院研究科長、各職員の部長・課長とも相談しながら進めていきたいと思います。特に今年は今まで以上に皆様方にご協力をお願いいたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。宜しくをお願いいたします。



(図21) 二次計画予定地

## 水道橋キャンパスニュース

### ■水道橋病院3階高度歯科医療センター 保存科・補綴科完成式

水道橋病院3階の旧総合歯科第1・2診療室の改修工事が完了し、「高度歯科医療センター 保存科・補綴科」として生まれ変わった。完成を記念して、平成25年1月16日(水)午後5時30分よりテープカットが行われた。テープカットは、金子 護理事長、井出吉信学長、一戸達也水道橋病院長、

矢崎秀昭同窓会会長および長田電機工業株式会社の長田康司社長の5名によって行われた。金子理事長は、「高度歯科医療センターという名称にふさわしい、より高度な歯科医療を実践する場として期待している。多くの患者さんにご満足いただけるよう、スタッフも気持ちを新たに、質の高い診療を展開していただきたい」と挨拶した。



テープカット風景：平成25年1月16日(水)、水道橋病院3階高度歯科医療センター 保存科・補綴科



水道橋病院3階高度歯科医療センター 保存科・補綴科室内



挨拶する金子理事長：平成25年1月16日(水)、水道橋病院3階高度歯科医療センター 保存科・補綴科



水道橋病院3階高度歯科医療センター 保存科・補綴科診療室



# 東京歯科大学学長の選任並びに法人役員の選任 について（報告）

平成25年1月17日

各位

学校法人東京歯科大学  
理事長 金子 讓

標記の件について、平成25年1月16日開催の第680回理事会・第231回評議員会（臨時）にて、東京歯科大学学長の選任並びに理事の選任が決定されましたのでご報告いたします。

## ○ 東京歯科大学学長の選任

学 長：井出 吉信 教授

任 期：平成25年6月1日～平成28年5月31日

## ○ 法人役員の選任について

理 事：金森 越哉 氏

任 期：平成25年1月16日～平成26年5月31日

## ■ 法人役員の選任

平成25年1月16日開催の第680回理事会・第231回評議員会（臨時）にて金森越哉氏が学校法人東京歯科大学の理事に選任された。

金森理事の任期は平成25年1月16日から平成26年5月31日までとなる。

## 金森越哉理事の略歴



金 森 越 哉

昭和26年12月10日生

昭和51年 3月 東京大学法学部卒業

昭和51年 4月 文部省入省 初等中等教育局財務課

昭和53年 4月 同 管理局企画調整課

昭和54年 7月 内閣総理大臣官房審議室 文教担当主査

昭和56年 8月 文部省初等中等教育局地方課教育委員会  
係長

昭和57年 4月 同 初等中等教育局財務課法規係長

昭和58年 6月 同 初等中等教育局財務課課長補佐

昭和58年 7月 徳島県教育委員会 管理課長

昭和60年 7月 文部省初等中等教育局教科書検定課課長  
補佐

昭和62年 11月 同 高等教育局医学教育課課長補佐

平成 元年 7月 同 学術国際局国際企画課専門員  
(米国国立科学財団)

平成 2年 8月 同 大臣官房人事課副長

平成 2年 12月 同 大臣官房総務課課長補佐  
(大臣秘書官事務取扱)

平成 3年 11月 同 高等教育局大学課入試室長

平成 6年 7月 同 生涯学習局青少年教育課長

平成 8年 7月 同 初等中等教育局高等学校課長

平成 9年 4月 香川県教育委員会 教育長

平成11年 7月 文部省初等中等教育局小学校課長

平成12年 3月 同 大臣官房総務課長

平成13年 1月 文部科学省大臣官房総務課長

平成14年 8月 同 大臣官房審議官  
(初等中等教育局担当)

平成16年 7月 同 高等教育局私学部長

平成18年 7月 同 大臣官房総括審議官

平成19年 7月 同 初等中等教育局長

平成22年 7月 同 文部科学審議官

平成24年 1月 同 退職

平成24年 11月 一般財団法人教職員生涯福祉財団  
事務局長

平成25年 1月 学校法人東京歯科大学理事

## 学内ニュース

### ■市川総合病院と市川市との合同医療救護活動訓練報告

市川総合病院では、地震などの大規模災害に備え、平成24年12月1日(土)午後2時より、当院において市川市との合同医療救護活動訓練を行った。

当院は災害拠点病院に指定されており、災害時には多数の負傷者が押し寄せることが予測される。市川市は当院敷地内に医療救護所を設営する予定で、医師会から派遣された医師が負傷者の応急手当てと病院内への搬送の要否判断などを実施することになっている。

訓練は東京湾北部を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生、総武線沿線の市街地で震度6強の揺れに襲われて建物の倒壊などで多くの負傷者が出たとの想定で始まった。

当院の役割は、市川市及び市川市医師会と相互に連携を図り、速やかに医療救護活動を実施し、後方病院の機能を果たすというものである。当院が患者で溢れ、重傷者への対応など本来の役割が損なわれてしまう可能性があるため、市川市により当院正面に仮設救護所が設営され、市川市医師会の医師によるトリアージが実施されることとなっている。軽微な負傷患者は仮設救護所で治療して帰宅させ、院内での治療が必要となる重症患者を判別して後方病院である当院へ搬送する。一方、当院側では仮設救護所から搬送されてくる重症患者を受け入れ、院内で二次トリアージを実施して重症患者の処置を行うという、それぞれの役割があらかじめ決められている。訓練は、そうした役割分担を想定し行われた。

当日は小雨も降る悪天候ではありましたが、市職員や市川市医師会・歯科医師会・薬剤師会・千葉県接骨師会市川浦安支部、当院教職員ら約160名が参加した。昨年に引き続き、4回目の合同訓練としては、滞りなく進行し、人の動きや各種オーダーなどの流れを確認することができた。また、今後の課題となる問題点も数多く発見することができた。また、実際に災害が発生した際には、対応が不可能になるという現実も想像されることから、普段から地域住民に対しての啓蒙

活動も重要であることが再認識された。災害時の基本的な考え方や、流れを理解する上でも災害に対する意識がより高まった訓練となった。



一次トリアージ風景：平成24年12月1日(土)、市川総合病院前



二次トリアージ風景：平成24年12月1日(土)、市川総合病院外来1階待合いホール入口



院内における傷病者処置風景：平成24年12月1日(土)、市川総合病院外来1階待合いホール

### ■第2回水道橋病院カルテ記載に関するワークショップ開催

平成24年12月1日(土)午後1時より、水道橋校舎13階ルームBおよびセミナー室において、第2回目となる水道橋病院カルテ記載に関するワーク

ショップを開催した。今回は、水道橋病院ならびに口腔健康臨床科学講座所属の本務教員、レジデントおよび臨床専門専修科生の合計30名が参加して行われた。タスクフォースは、本学病院合同診療録管理委員会副委員長の杉戸博記医事課長をチーフとして、水道橋病院診療録管理委員会の委員5名が務めた。また、オブザーバーとして、水道橋病院診療録指導委員会統括委員長の黒須 誠臨床教授をはじめ、8名の委員の先生方をお迎えしてご指導いただいた。

一戸達也水道橋病院長および黒須臨床教授による挨拶の後、プレテストおよびワークショップの概要説明が行われた。次に、診療録指導委員会幹事委員の森岡俊介先生に「水道橋病院における一口腔単位の診療計画への提案」と題してご講演いただき、歯科大学病院の役割ならびに歯科大学病院における一口腔単位の診療計画の重要性および実践について解説いただいた。引き続き、5名ずつの6グループに分かれてのグループワークとして、実際のカルテをブラッシュアップする課題(1ケース)、症状詳記等の診療情報から保険カルテおよび関係書類等を作成する課題(2ケース)に取り組んだ。

グループワークの成果を各グループより発表した後、杉戸医事課長より「誰が見ても患者の病態・状況が分かる診療録の記載について」と題した講演があり、診療録記載の法的根拠、保険診療に関する法令・規定等について説明し、カルテ及び関係書類記載の注意点について解説した。続いて一戸水道橋病院長より「医師・歯科医師に対する再教育制度について」と題し、行政処分を受けた歯科医師に対する再教育制度の概要ならびに研修の流れ等についての講義が行われた。最後にポスト



課題に取り組む参加者：平成24年12月1日(土)、水道橋校舎13階セミナー室

テストを行い、ワークショップ全体を総括した。

若手の医局員を対象として、診療録記載の技能を向上し、次世代の指導者を育成するという趣旨で開催された今回のワークショップであったが、課題に取り組み討議を重ねる中で、参加者それぞれが収穫を得たのではないだろうか。



グループ発表および討議：平成24年12月1日(土)、水道橋校舎13階ルームB

### ■効果的な有床義歯補綴学教育のためのワークショップ開催

平成24年12月2日(日)、水道橋校舎13階において、効果的な有床義歯補綴学教育のためのワークショップが開催された。本ワークショップは非常勤講師の先生方と本学専任教員が一体となり、本学学生が実際の臨床を具体的にイメージし、卒業・国家試験合格・臨床研修につながる、基本的な知識と技能を身につけることができるカリキュラムを作成するとともに、水道橋移転に伴う人的資源を考慮した講義・実習方法および内容を検討するものである。これにより、将来の優れた歯科医学教育の指導者を養成し、教育体制の更なる改革と東京歯科大学の教育力のより一層の充実をめざす事を趣旨として開催された。

今回はご多忙の中、15名もの非常勤講師の先生方にご賛同いただき、本学からのスタッフおよび参加者と合わせ31名が集まり、登院前の段階での有床義歯補綴学のアウトカムの設定からはじまりカリキュラム・プランニング等、テーマに沿った4つのセッション、1つのレクチャーからなるプログラムが実施された。4グループに分かれ、限られた時間内にグループ討議、発表を行う凝縮された内容のワークショップであった。

参加した非常勤講師の受講者からは、「非常勤講師はこれまでお手伝いの感があったが、カリ

キュラム・プランニングから参画することで学生教育に対する責任感が生まれた」、「ワークショップに参加することで大学の教育方針を知ることができ、非常に有意義であった。非常勤講師と専任教員の意思疎通のためにも毎年実施した方がよい」、「これまで基礎実習等に参加する中で気づいたことを大学側へ伝えるよい機会であった」等の感想が挙げられた。本ワークショップは今後も継続して実施することにより教育体制の改革と教育指導のより一層の充実を目指している。



全体討論の様子：平成24年12月2日（日）、水道橋校舎13階ルームB

### ■第118回歯科医学教育セミナー開催

平成24年12月10日（月）午後6時より、千葉校舎第2教室において、第118回歯科医学教育セミナーが開催された。今回は、「歯学教育における倫理・プロフェッショナルリズム教育について」と題し、神奈川歯科大学社会歯科学講座 歯科医療社会学分野の平田幸夫教授をお招きし、講演が行われた。

はじめに、倫理等に関わる内容が問われている国家試験の問題を聴講者に解いてもらい、知識面では、あまり取り上げられていない状況を示された。そして、医療を行なう上で基本をなす能力や考え方を表す事柄を教育する体系が、海外と比較し日本では整えられていない状況を紹介するとともに、どのようにそのような教育体系を確立していくのか提言がなされた。次に、プロフェッショナルリズムについて、文献や図で紹介し、日本における専門性の背景を、歯科医師を基に、説明がなされた。最後に、現時点での倫理・プロフェッショナルリズム教育のガイドラインから読み取れる事項や問題点について説明がなされた。

今回のセミナーでは、現在の「倫理・プロフェッ

シヨナリズム」教育の置かれている状況を知ることができた貴重な機会となった。質疑・応答も盛んに行われて有意義なセミナーとなった。



講演される平田教授：平成24年12月10日（月）、千葉校舎第2教室

### ■入試ガイダンス開催

東京歯科大学への入学を希望する受験生を対象として、入試ガイダンスが平成24年12月15日（土）午後2時より水道橋校舎13階で開催された。

ガイダンスでは、液晶プロジェクター・ビデオ等を用いて、東京歯科大学の教育理念や教育カリキュラム、国家試験合格状況、学生生活、卒後進路状況等、平成25年度入学試験の概要等について説明があった。

また、毎回異なる模擬授業が実施され、今回は法人類学研究室 橋本正次教授による「人類学から見た頭顔面部の特徴について」と題した講演が行われた。授業内容は受験生にもわかりやすい内容で構成されており、参加者が大変熱心に聞き入っていた。

最後に希望者を対象に教務部・学生部の教職員との個別相談とさいかち坂校舎と水道橋病院の見



受験生と対話をしながら模擬授業を行う橋本教授：平成24年12月15日（土）、水道橋校舎13階ルームA

学が行われ、参加者からは「橋本教授の講義が大変勉強になり参加してよかった」「国家試験合格率、入学試験、学生生活等ガイダンス内でバランスよく丁寧に説明していただき大変参考になりました」等の感想があげられ大変有意義なガイダンスとなった。

### ■「平成24年工作納めの会」実施

千葉校舎「平成24年工作納めの会」は、平成24年12月28日(金)午後1時より厚生棟1階食堂において開催された。会場には教職員、大学院生、臨床研修歯科医等が多数集まり、菅沼弘春大学庶務課長の司会のもと、井出吉信学長より一年を締め括る挨拶が述べられた。引き続いて、石井拓男副学長のご発声により一同乾杯、今年一年の労を互いにねぎらい、会は賑やかに進行した。

懇談の中、柳澤孝彰副学長の中締めにより、会は和やかな雰囲気うちに閉会となった。

市川総合病院では、午後4時30分より講堂において開催された。井出吉信学長より、市川総合病院教職員に対して挨拶が行われた。続いて、間部克善事務部長より医学教育等関係業務功労者表彰が披露され、最後に安藤暢敏市川総合病院長よりボランティア団体に感謝状の贈呈が行われた。

水道橋校舎では、午後6時より水道橋校舎14階にて、金子 譲理事長、熱田俊之助法人常務理事、井出吉信学長、高橋一祐名誉教授をお迎えし、水道橋病院・法人事務局・同窓会事務局の教職員が一堂に会して開催された。金子理事長、井出学長よりご挨拶をいただき、続いて一戸達也水道橋病院長・法人主事のご挨拶および発声により乾杯した。参加した教職員は大いに語り合い、終始和やかな雰囲気ですべてを深め合った。最後に、太田 茂



井出学長の挨拶に聴き入る教職員：平成24年12月28日(金)、千葉校舎厚生棟

法人人事課長の中締めによりお開きとなった。



挨拶する一戸水道橋病院長：平成24年12月28日(金)、水道橋校舎14階

### ■「平成25年工作始めの会」実施

千葉校舎では、平成25年1月7日(月)午前9時より講堂において仕事始めの会が開催された。教職員、大学院生並びに臨床研修歯科医等が多数出席し、菅沼弘春大学庶務課長の司会のもと、金子 譲理事長、井出吉信学長から年頭の挨拶が述べられた。将来を見据えた経営方針、大学の責務、水道橋移転計画や新校舎の建築状況などについてお話があった。出席者からは、新たな幕開けに全教職員が一丸となって協力し取り組んで行こうという意気込みが感じられた。

市川総合病院では、午後4時30分より講堂において開催された。金子 譲理事長、柳澤孝彰副学長、安藤暢敏市川総合病院長より、市川総合病院教職員に対して年頭の挨拶が行われ、市川総合病院の一年の幕開けになった。

水道橋校舎では、午後6時より水道橋校舎13階ルームAにて、水道橋病院・法人事務局・同窓会事務局の教職員の出席のもと、金子 譲理事長、井出吉信学長、一戸達也水道橋病院長・法人主事



挨拶する金子理事長：平成25年1月7日(月)、千葉校舎講堂

より年頭のご挨拶をいただいた。



挨拶する安藤市川総合病院長：平成25年1月7日（月）、市川総合病院講堂

### ■第119回歯科医学教育セミナー開催

平成25年1月21日（月）午後6時より、千葉校舎第2教室において、第119回歯科医学教育セミナーが開催された。今回は、「高校理科教育の現状について」と題し、千葉県立生浜高等学校で副校長を務められている青木正寿先生をお招きし、講演が行われた。

はじめに、現在の理科教育の現状についてアンケートや各調査結果をもとに説明があり、続いて、「ゆとり教育」や「学力低下問題」などが取り上げられるように至った背景である教育課程の歴史について、理科教育を中心に説明がなされた。国の教育方針の転換に伴う指導要領等の変遷、様々なファクターに起因した学習意欲の低下、教育方法、教育的制度の変化など多くの要因が、そういった問題の背景に存在しているとのことであった。

その中で、新たに採用されることとなった新学習指導要領では、従来削減されてしまっていた内容の復活や時間数の増加により、理科の指導上の



講演される青木先生：平成25年1月21日（月）、千葉校舎第2教室

問題が解消されると期待しているとのことであった。

今回のセミナーは、高校までの理科教育の置かれている状況またはその背景を知ることができたと共に、大学における初年次教育を検討していく上で、参考となる情報を得ることができた貴重な機会となった。

### ■第2回千葉病院ロビーコンサート 午後のリサイタル開催

平成25年1月26日（土）午後2時30分より千葉病院1階待合ロビーにて、第2回ロビーコンサートが開催された。

今回は、本学の同窓である、村田憲一郎さん（ドラム）、小杉雄一さん（ピアノ）、及び特別参加の三橋洋介さん（ベース）からなる、「村田憲一郎トリオ」によりジャズ音楽が演奏された。

メンバーの村田さんは、歯科医として勤務されるかわら、多くのトップ・ミュージシャンと共演、小杉さん、及び三橋さんは多くのライブハウスでプロ活動をされている等、錚々たる方々を集めて開催された。

当日は、81名の方々が集まり、軽快なジャズの演奏に耳を傾け、盛大かつ和やかにコンサートは終了した。



演奏される村田憲一郎トリオ：平成25年1月26日（土）、千葉病院1階ロビー

### ■市病フォーラム第17回市民公開講演会開催

市川総合病院において毎年開催している市病フォーラム主催による市民公開講演会が、平成25年1月26日（土）午後2時より、市川総合病院2階講堂において開催された。

「思わぬアレルギーの落とし穴－身近なアレルゲンから身を守ろう－」と題し、次の各テーマに

分け、それぞれに講演者を立て、実行委員長である高橋慎一皮膚科部長の司会進行のもと行われた。

1. 「食物アレルギー – その食物、ほんとうに食べられませんか? –」  
大塚宜一（順天堂大学医学部 小児科・思春期科学教室 先任准教授）
2. 「スキンケアこそアレルギー予防の基本」  
高橋慎一（東京歯科大学市川総合病院 皮膚科 教授・部長）
3. 「その病気の原因は！ 歯科金属かもしれません!!」  
浮地賢一郎（東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学講座 助教）
4. 「気管支喘息 – 聞きたいこと、知りたいこと、あなたの疑問、悩みにお答えします –」  
寺嶋 毅（東京歯科大学市川総合病院 呼吸器内科 准教授・部長）
5. 「アレルギー性鼻炎 – つらい花粉症！ どう付きあったら良いの? –」  
吉田隆一（東京歯科大学市川総合病院 耳鼻咽喉科 助教）



講演する高橋実行委員長：平成25年1月26日（土）、市川総合病院2階講堂



講演会風景：平成25年1月26日（土）、市川総合病院2階講堂

## 6. 「メからウロコの花粉症撃退法！」

深川和己（医療法人社団 慶翔会 理事長 / 東京歯科大学市川総合病院 眼科 非常勤講師）

それぞれの専門分野から、市民の皆様が日頃から疑問に思っているアレルギー疾患について、丁寧にわかりやすく講演が行われた。130名を超える入場者からは、大いに関心が寄せられ、質疑応答も活発に行われ、市民講演会は盛会のうちに終了した。

## ■平成24年度東京都エイズ診療従事者臨床研修開催

平成24年11月5日（月）、6日（火）および平成25年1月28日（月）、29日（火）の2回にわたり、水道橋病院において「平成24年度東京都エイズ診療従事者臨床研修」が開催された。この研修は、水道橋病院をはじめとする都内の3大学病院および都立駒込病院が東京都福祉保健局からの委託を受け、都内の医療従事者向けにエイズに関する実践的な知識・技術の習得を目的に行ったものである。水道橋病院では「基礎コース」として実施しており、14回目にあたる今年度は、11月に6名、1月に6名の合計12名が受講した。また、水道橋病院の臨床研修歯科医も講義を受講した。

研修は講義および実習で構成し、水道橋病院の歯科医師、看護師、歯科衛生士等のスタッフの協力・連携のもと実施された。池田正一臨床教授の講義は「HIV感染症の現状および口腔所見と歯科医療」と題し、HIV感染・増殖のメカニズム、治療薬および最新の治療法等について詳しく解説いただいた。また、11月6日（火）は根岸昌功先生（ねぎし内科診療所院長）、1月29日（火）は今村顕史先生（東京都立駒込病院感染症科）を講師にお迎えし、「エイズ診療の基礎知識」として、専門医の立場から貴重な講義をいただいた。また、標準予防策の理念および実践、感染事故を起こした際の対策、医療安全の観点による器具の洗浄・滅菌の実際および感染症患者への歯科治療における注意点などについて、水道橋病院のスタッフが講義を行った。

実習は、手洗いおよび含漱の評価、ガウンテクニック、マスクの着脱などを行った。また、SNR（スペシャルニーズルーム）において、感染予防対

策の実習および実際の診療の見学を行った他、総合歯科および口腔外科診療室にて感染予防対策の実例を見学した。



標準予防策を実践した診療の見学：平成24年11月5日（月）、水道橋病院SNR



池田臨床教授の講義：平成25年1月28日（月）、水道橋病院研修室

#### ■平成24年度第8回水道橋病院教職員研修会開催

平成25年1月28日（月）午後5時30分より、水道橋校舎13階ルームBにおいて、平成24年度第8回水道橋病院教職員研修会が開催された。今回は、医療機器安全管理について水道橋病院医療機器安全管理委員長の片田英憲講師、医薬品安全管理について水道橋病院医薬品安全管理委員会副委員長の山根理恵子主任薬剤師がそれぞれ講演した。

初めに、片田講師が「医療技術安全セミナーの報告 - 医療機器安全の現状と課題 -」と題し、昨年10月に受講した研修会「医療技術安全教育セミナー 2012」について報告した。この研修会は、全国の医療機関における医療機器安全責任者を含む医療機器取扱従事者を対象として、医療機器安全管理対策に関する最新情報を提供する趣旨で行われたものである。厚生労働省所管の独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）の業務のう

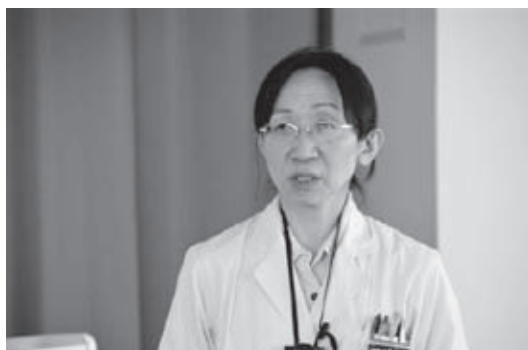
ち、「承認審査」（日常生活で使用する医薬品・医薬部外品および医療機器の品質、有効性、安全性の審査）、「安全対策」（市販後の医療機器の安全性についての情報収集、調査・検討、相談）について詳細に解説し、医療従事者が安全性情報を活用する際のポイントについて説明し、スタッフ間で情報共有することが重要であると強調した。

続いて、山根主任薬剤師が「処方箋疑義照会について」と題し、処方箋の様式が変更になった昨年6月から半年間の疑義照会事例について、月別の件数の推移と内容について報告した。事例のうち特に多い「用法・容量」「処方箋とカルテ記載の不一致」「相互作用」の3つについて具体的に解説し、「アレルギー・禁忌」「重複処方」「処方箋の記載不備」等の事例についてもそれぞれ詳細に説明した。また、問い合わせの際の迅速な対応、処方箋およびカルテへの記載漏れの確認、アレルギー及び服用中の薬の確認、適切な用法・容量の処方、適応に沿った処方を行うことを、薬局として要望した。

医療機器、医薬品の安全管理を実践し、安全に使用することは、安全で安心できる医療を提供す



講演する片田講師：平成25年1月28日（月）、水道橋校舎13階ルームB



講演する山根主任薬剤師：平成25年1月28日（月）、水道橋校舎13階ルームB



ることと結びついている。日々の業務の中で、医療従事者としてより高く意識を持つことが、患者

様にとって安全で安心な水道橋病院であることにつながると認識した研修会であった。

## 大学院ニュース

### ■大学院入学試験（Ⅰ期）実施

平成24年12月1日（土）午前9時30分より千葉校舎において、平成25年度大学院入学試験（Ⅰ期）が実施され、外国語（英語）試験および志望講座における主科目試験・面接が行われた。また同日、社会人特別選抜、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの2コース（口腔がん研究を臨床に活かせる専門歯科医師養成コース、がん治療支持

療法のための歯科医師養成コース）の試験も行われた。本年度は、志願者31名（一般28名、社会人特別選抜1名、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの2コースに各1名）が受験し、12月7日（金）正午に合格者の発表が行われた。なお、Ⅱ期は平成25年3月2日（土）に実施される予定である。

## 移転関係報告

平成24年12月21日

### 教職員への移転関係報告（13）

教職員 各位

理事長 金子 讓  
学 長 井出 吉信

### 移転計画に関する記念式典等の日程について

大学の水道橋移転に伴い、記念式典等を下記日程にて予定しております。時間、参加対象者等の詳細につきましては改めてご案内いたします。

平成25年7月19日（金） 竣工式  
平成25年7月20日（土） 父兄会竣工祝賀会  
平成25年8月31日（土） 竣工記念式典  
平成25年9月2日（月） 開校式

教職員各位におかれては、今後とも移転計画の推進にご理解ご協力をお願いいたします。

## トピックス

### ■米国ロチェスター大学との姉妹校協定締結

平成24年12月1日(土)、本学と米国ロチェスター大学が姉妹校協定を締結した。ロチェスター大学は1850年に創設されたニューヨーク州ロチェスターにある私立総合大学で全米の大学ランキングでは常に上位に入る名門校である。また、歯科医療機関である同学のEastman Dental Centerは日本を含め、世界各国に優秀な歯科医学研究者、教育者を多数輩出している。本学理事長、学長とEastman Dental Centerの責任者であるCyril Meyerowitz教授との間で協定書に調印が取りかわされた。これより向こう5年間の姉妹校関係が成立し、本学にとっては国際的視野を持った医療人を育てる教育の場がまた増えることとなった。



協定書

### ■平成24年度(第43回)千葉県私学教育功労者表彰を受ける

口腔科学研究センター 岡野 繁 主任研究技術員  
 教養科目 富田正幸 研究補助員  
 大学事務局企画・調査室 椎名 裕 企画・調査室長

千葉県内の私立学校の教職員として長期間従事し、特に功労があった者として各学校から推薦された候補者の中から選ばれる当該表彰において、本学から推薦した岡野 繁口腔科学研究センター主任研究技術員、富田正幸教養科目研究補助員、椎名 裕大学事務局企画・調査室長の3名が今年度の表彰者として選ばれた。

岡野主任研究技術員は、昭和51年より約36年間の長きにわたり、研究技術員として、口腔科学研究センターにおける研究機器管理業務に携わる

傍ら、研究者に対する機器取扱の説明・指導を通じて、数多くの学术论文等研究業績の向上に貢献してきた。現在は主任研究技術員として職務を誠実に果たし、実直な人柄と長年培った経験を生かし、研究者から厚い信頼を得ている。

富田研究補助員は、昭和49年より約38年間の長きにわたり、研究補助員として、実習準備・後片付け等の教育・研究補助業務、講義や試験の出欠確認等の教務関係業務、研究室の庶務業務等を誠実かつ着実に遂行し、教育・研究の下支えとして大きな貢献をしてきた。さらに、最近は教学の事務業務にも携わり、何事にも労をいとわず積極的に取り組む姿勢は、他の職員の範たる存在である。

椎名企画・調査室長は、昭和53年に旧稲毛歯科診療所での職務に就いて以来約34年間、大学においては庶務課、教務課、学生課、千葉病院においては庶務課、また歯科衛生士専門学校においても職務を果たし、多岐に渡る業務に精励してきた。その仕事ぶりは極めて真摯で謹厳実直であ



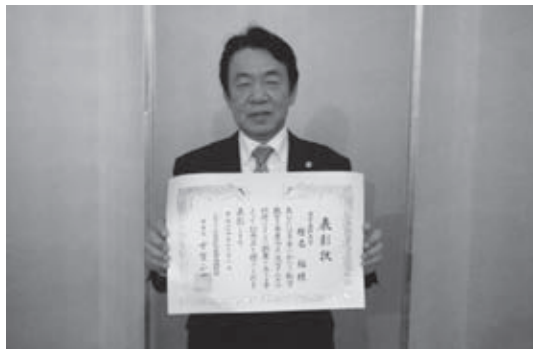
表彰を受けた岡野主任研究技術員：平成24年12月1日(土)



表彰を受けた富田研究補助員：平成24年12月1日(土)

り、他の職員の範たる存在である。現在は企画・調査室長として、豊かな事務経験を生かして、大学の運営等に関する情報の収集・分析・調査及び企画立案や広報業務等により、大学の運営に貢献している。

以上のように、本学から推薦した3名の貢献してきた功績が高く評価され、今回の表彰となったものである。



表彰を受けた椎名企画・調査室長：平成24年12月1日（土）

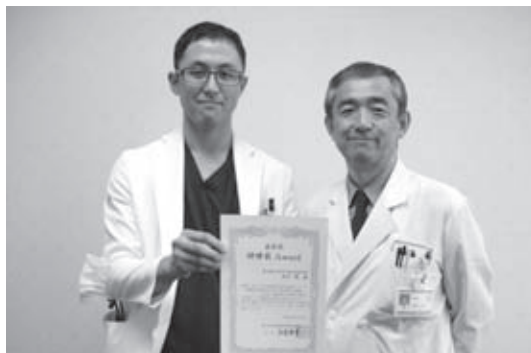
### ■雨宮 剛初期臨床研修医 第74回日本臨床外科学会総会で研修医プレゼンテーション Award 優秀演題賞を受賞

平成24年11月29日（木）から12月1日（土）の期間に東京・京王プラザホテルで開催された第74回日本臨床外科学会総会の要望演題セッションにおいて、市川総合病院の雨宮 剛初期臨床研修医が研修医プレゼンテーション Award 優秀演題賞を受賞した。受賞演題は、「大腸癌化学療法目的皮下埋没型静脈ポート留置例の合併症の検討」である。

今回、外科学講座松井淳一教授の指導のもと、2008から2011年までの4年間に、外科で皮下埋没型静脈ポートが手術的に留置された144例のデータについて抽出作業を行い、大腸癌化学療法目的の108例について検討し、データベースをまとめた研究成果を30日の研修医プレゼンテーションにおいて口演発表した。市川総合病院での成績は、他施設報告と比較しても同等ない良好であることが確認された。また、合併症により化学療法が中止、変更された症例があり、合併症や感染対策の重要性が認識された。

東京歯科大学市川総合病院での研修2年間を通じて学んだ「基礎・基本」をこれからの医師人生の

中で生かして今後の活躍、発展が期待される。



松井教授（右）と受賞した雨宮初期臨床研修医（左）

### ■姉妹校交流レポート「延世大学校歯科大学 Hee-Jin Kim教授による講義」

平成24年12月12日（水）、姉妹校である韓国の延世大学校歯科大学解剖学講座Hee-Jin Kim教授による解剖学の講義が、第2学年に対しすべて英語によって行われた。第2学年は11月までに筋骨を終了しており、その延長として臨床との結びつきに焦点をあてた講義であった。一週間前、学生にはKey wordを配布し覚えさせることによって、英語の講義でも内容を十分理解できるように配慮した。また講義タイトルを「Cosmetic Anatomy」として、“審美”という歯科医療の1つの方向性も加味し、講義に少しでも興味を持ってもらえるように工夫した。Hee-Jin Kim教授は延世大学の学生部長で、これまでの両校の学生交流の様子なども講義内でコーヒープレイク的に話され、学生は最後まで興味を持って聴講していた。講義の様子は直ちに解剖学講座のHP（<http://abesh.jp/>）にアップした。

これは姉妹校教育交流の一環で、昨年6月には東京歯科大学の教員によって臨床解剖学の講義が延世大学の学生に対し行われている。どちらもカ



Hee-Jin Kim教授による本学第2学年への講義風景：平成24年12月12日（水）、千葉校舎第5教室

リキュラム内の講義で、事前にシラバスなどで両校の学生には周知されたものである。延世大学は新たにIncheon Free Economic ZoneにInternational Campusをすでに開校させ、歯学部第1学年の学生も今後その地で教育を受けるようになる。この独自の教育体系から得ることも多く、姉妹校である延世大学とは研究だけではなく教育の交流も継続させていきたいと考えている。

(解剖学講座・教授 阿部伸一)



延世大学にて本学教員による講義風景：平成24年6月、延世大学



延世大学International Campus

## ■平成24年度NHK「歳末たすけあい」募金実施

年末恒例のNHK「歳末たすけあい」募金は、平成24年度も千葉校舎、市川総合病院において、12月初旬から年末までの日程で実施された。

善意により集められた募金は2施設合計17,781円で、NHK「歳末たすけあい」募金として社会福祉法人である千葉県共同募金会に寄付された。これらの浄財は、民間福祉施設や福祉団体へ贈る車椅子、床ずれ防止マットレスなどの介護用品、業務用調理器具・洗濯機などの就労支援・生活用品の購入に充てられ、施設や在宅の障害者(児)・高齢者・児童など支援を必要としている方々のために利用される。

## ■水道橋病院より東日本大震災義援金を寄付

水道橋病院は、病院窓口に設置した募金箱に、平成24年中に集められた募金26,552円を、「東日本大震災義援金」として日本赤十字社に寄付した。

## ■第7回合同歯周病勉強会開催

平成25年1月24日(木)午後7時30分より、水道橋校舎13階ルームBにおいて、第7回合同歯周病勉強会が開催された。この勉強会は、東京歯科大学歯周病学講座、慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室、東京歯科大学口腔健康臨床科学講座で交流を図り、各病院における歯周病治療のレベルアップを目的として平成23年に立ち上げられ、今回で第7回となった。

今回は「フォーマルディベート」が開催された。これは、3病院における教育プログラムの一環として年一回開催されており、今回で4回目の開催となる。各病院の臨床研修医、大学院生、歯科衛生士、専任教員、専修科生、歯周病学講座OBなど総勢90人を超える参加であった。

今回は「付着(角化)歯肉は必要である」というテーマで行われ、東京歯科大学口腔健康臨床科学講座が賛成派、慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室が反対派、東京歯科大学歯周病学講座がジャッジとして参加した。また、その他の参加者は、聴衆として評価に参加した。口腔健康臨床科学講座の藤波弘州助教の進行のもと、参加者に対して今回のディベートテーマに準じたPre testが行われ、タイムスケジュールの説明が行われた。

その後、ディベートが開始された。賛成派、反対派から交互にスピーチ、質問、回答が行なわれ、その後ジャッジから各チームに質問があった。回答後、両チームが反駁スピーチを行い、最後にジャッジによる判定が行われた。賛成派からは実際の症例写真を交えながら付着歯肉の必要性を示され、反対派からはメンテナンスの観点から、必ずしも角化歯肉は必要でないことが示された。議論は白熱し、聴衆も集中して聴講していた。ジャッジによる判定が行われ、それぞれ優劣つけがたい素晴らしい発表であったが、全体的なスピーチの流れ、実際の症例データの提示といった点で賛成派、本学口腔健康臨床科学講座に軍配が上がった。

その後、Post test に続いて、まとめの講義に

より、参加者は知識の再確認を行った。最後に、二階堂雅彦臨床教授、中川種昭教授、齋藤 淳教授から総括が行われ、盛況のうちにディベートは終了となった。次回の勉強会開催予定は歯周病学講座HP (URL: <http://www.tdc.ac.jp/dept/peri/>) で告知される。



白熱したディベートが展開された：平成25年1月24日(木)、水道橋校舎13階ルームB



ディベートのチームメンバー (写真左、慶応義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室、写真右、本学口腔健康臨床科学講座)：平成25年1月24日(木)、水道橋校舎13階ルームB

## ■クラス会(百樹会：平成2年卒業)より大学へのご寄付

平成2年卒業の第95期生クラス会(百樹会)一同より大学へ30万円が寄付された。

平成25年1月26日(土)夕方水道橋校舎13階ルームCにて、3年ぶりにクラス会総会が開催された。大学創立120年記念事業の一環である水道橋移転への支援とともに、今後の大学運営に役立つための案件について討議した結果、クラス会として母校に寄付することが満場一致の賛同を得て決定した。

その後、場所を東京ドームホテル42階・シリウスに移して開催された懇親会には、第3、4年次の学年主任であった井出吉信学長を来賓としてお招きしていたため、早速百樹会代表の坂 英樹先生より、井出学長へ会員一同からの30万円寄付の目録が手渡された。



井出学長(左)へ寄付の目録を手渡す坂百樹会代表(右)：平成25年1月26日(土)、東京ドームホテル42階・シリウス

# 2012年の回想 & 2013年の抱負

**太江田晶子** (市川総合病院 看護師長)

近年、新人看護師の早期離職が問題となっており、当院でもその防止対策に取り組んでいます。夢と希望を持ち、当院に就職してくる新人看護師達が専門職業人として初めて経験する職場環境の中、リアリティーショックを感じることなく1年目を無事に迎えてもらいたいという思いを胸に、平成24年4月、当院看護部はじめての新人教育担当看護師長として新人看護師に関わってきまし

た。「私に大事な新人看護師教育担当が務まるのか…」という不安な気持ちの中、4月に新人看護師を迎えてから、あっという間に9ヶ月が過ぎてしまいました。

「人を育てる」ことは本当に難しく、今はまだ、喜びよりも後悔や自分の無力さを情けなく思う日々の連続ですが、悩みながらも時代に合わせた教育のあり方や方法を学び、実践していくことで、自分自身の成長にもつながるように思い、努

力しているところです。

今後も時にはつまづくこともあるかもしれませんが、新人看護師達が成長し一歩ずつ前に進んでいけるよう、微力ではありますが力がなっていきたいと考えています。活き活きと明るい笑顔で患者さんの前に立つ姿を想像し、2013年も自分のできることを一生懸命行いたいと思います。

#### 香川瑠理 (学生 第1学年)

2012年の春、晴れて私は第一志望校だった東京歯科大学の門をくぐり『さいかち坂校舎』の一期生になりました。歯科医を天職にしたいという夢を叶えるべく、希望を胸に、初めの第一歩を踏み出しました。しかし、それはイバラの道の一步でもありました。初めての一人暮らし、部活と学業との両立、必死に乗り越えた前期定期試験、振り向く暇もなく走り抜きました。また、この年はロンドンオリンピック開催の記念すべき年でもあり、日本はメダル獲得総数過去最多38個という輝かしい成績を残しました。何よりも辛い震災を体験された人々を励まし、「チームの団結力」の大切さを私達に見せつけた大変印象深いものでした。

2013年、私は弓道部で培った団結力、それから新しく築いた仲間との友情、そして常に近くで導いて下さる先生方に支えて頂きながら、まずは基礎知識をしっかり修得し、様々な経験を積み重ね、患者さんの気持ちをくみとれる医療人になれるよう努力していきたいと思います。この一年も悩みながらがむしゃらに走り続けていることでしょう。『継続は力なり』という言葉信じています。

#### 川尻尚子 (市川総合病院 薬剤部長)

2012年は市川総合病院での第一歩を踏み出すという、大きな決断の年でした。毎日が未知の経



験と試練の連続で、不安を感じる暇もなく一年が経とうとしています。昨年、一番うれしかったできごとは、院内の皆様の協力を得て、薬剤部全員の力を結集して病棟薬剤業務を開始できたことでした。今までにない新鮮な感動がありました。

「やるかやらないか迷ったときは、まずやってみること。夢は持ち続けられかなうもの」と信じています。どんなことでも目標に向かって進み、それを達成したときの充実感は何にも代えられません。

2013年は患者さんのため、病院のため、皆で最強の薬剤部をめざします。欲張って自分の夢も追いかけていきたいと思います。すばらしい仲間と共にどんな年になるのか、ちょっぴり怖くもあり、楽しみでもあります。

#### 河西佳彦 (図書課総務係 事務主任)

♪～お昼休みわあ～♪「いい汗流してま～す♪」

昨年4月、水病・医事課より配属になりました。異動に際し、人事課 O課長より、来年度は、大学移転が控えており、図書課は男性陣が少ない中で、図書の移動等、体力を使うので「体を鍛えておいた方がいいよ」と云うアドバイスをいただきました。

遠い昔々(18年前)、市川病院勤務時代は、木曜会の中の野球部で活動していましたが、水道橋病院へ異動してからは、全く運動をしなくなっていたところです。そこで、異動した昨年4月下旬以降、B氏と共に、体力増進を目指し、連日「部活」に励んでいるところであります。

また、病院以外の職種は初めてであり、図書課の業務は、自分の想像以上に多岐に亘っていて驚かされました。徐々には、慣れてきましたが、まだまだ、分からない所も多いので、これからも図書課の皆様には、ご迷惑をお掛けすると思

が、ご指導の程、お願い致します。

さて、移転に向けて図書課では、夏休みが明けた頃より、移転準備をスタートさせました。移転に伴い図書課も分散（水道橋校舎、さいかち坂校舎、市川、千葉）していく中で、資料（図書・雑誌等）の選別、人員配置、各係との連携、開館時間等々の問題解決に向けての話し合いと、図書、雑誌の書架移動の“肉体労働”を現在行っています。連日の昼休みの「部活」の成果もあり、これからの肉体作業も乗り越えられそうです（笑）。

2013年は、大学移転を無事に終えることが出来るよう全員で一丸となり進めていきたいと思えます。また、昨年より継続している「部活」を続け、バットを振り込んで、19年振りに草野球の試合が出来たらと思います。（肩は出来上がりつつあります♪）

#### 木村祐一郎（オーラルメディスン・口腔外科学講座 レジデント）

私は昨年、市川総合病院で歯科臨床研修を修了し、引き続き一年間の医科研修を選択しました。医科研修では、歯科医師として必要とされる全身から口腔を診る力が日々養われていることを実感でき、充実した毎日を過ごしています。また、市川総合病院では、入院患者の口腔ケアや周術期口腔機能管理などを積極的に行っており、病院スタッフ全体の口腔への関心が非常に高く、歯科医師の役割として現場から何が求められているのかをよく考えさせられ環境でもあります。

そのような中、歯科医師としての専門性を生かすためには、この一年で学んだことを無駄にしないよう、今後も日々研鑽していきたいと考えています。

#### 栗田幸昌（水道橋病院薬局 薬剤師）

私は2012年4月から水道橋病院で働いています。水道橋病院では薬剤師が院外処方箋の内容確認を行い、会計時、患者に直接処方箋を渡しています。このような業務はほとんどの病院で行われていない事なので、最初は驚きました。しかし、会計窓口立つ事で、これまでの仕事では気付く事なかった病院窓口での患者対応の大切さにも気付かされました。

歯科で使われる薬は医科と比べると極端に少な



くなりますが、その様な中でも気を付けるべき相互作用や禁忌・アレルギー等があるので見逃すことのない様、日々慣れない手書きの紙カルテと格闘しています。

少しずつでも、薬剤師が職能を発揮していけるよう、様々な職種の方と協力して、より良い医療を提供していければと思っています。

#### 谷本彩香（歯科衛生士専門学校 第2学年）

2012年の春からは相互実習、秋からは臨床実習が始まり、今までの座学からは離れ、毎日新しいことを体験し、責任と緊張を感じる日々を送っています。登院から2ヶ月経った今、緊張と不安で押しつぶされそうになりますが、歯科衛生士の方々をはじめ、先生方、他職種の方々のご指導を頂き、友人達と情報を共有しながら実習に取り組んでいます。

2013年は20歳という区切りの歳を迎え、自分はこの先どのような歯科衛生士になりたいのか、どのようにすれば充実した実習となるのか、一つの行動に目標や責任を持ち、臨床実習に臨んでいきたいと考えております。また、多くの方々の支えがあつての実習であるという感謝の気持ちを忘れずに、積極的に毎日を充実させていこうと思います。



**渡嘉敷 俊** (大学事務局会計課 事務員)

入職して10カ月程経ちました。入職半年で水道橋病院の総務課から、大学の会計課へ異動したこともあり、あっという間に時間が過ぎていったように思います。入職1年目を振り返ると、私は極度の人見知りですので(そんな様子は周囲にあまり伝わらないようですが…)、水道橋病院でも千葉校舎でも毎日怯えながら仕事をしていました。そんな極度の人見知りである私に、優しく声をかけてくださる皆様のおかげで、私の怯えも殆どなくなりました。本当にありがとうございます。入職2年目になる今年は、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに、気を引き締めて、より積極的に業務に当たりたいと思います。今年もよろしく願い申し上げます。

**二瓶伸也** (有床義歯補綴学講座 レジデント)

昨年末、白衣のボタンが弾け飛びました。ガリガリメガネと呼ばれたこともありましたがそれも今は昔です。いつのまにか、鈍牛のようになりました。今年には少なくとも3キロは痩せたいと思います。そのために私は、週に2回(月、木)校庭を10周走ります。また、半身浴を30分行い、その後ストレッチを40分行います。この時点で、3キロは痩せているでしょうか。しかし、それだけではありません。間食をやめます。うまい棒をよく食べているのですがそれもやめます。完全に。ここまで行えば5キロは確実に痩せています。目標よりも2キロも多く痩せることができそうです。これはありがたい誤算です。

政権も交代し、東京歯科大学も水道橋に移転するという、今、時代がうねり始めました。自分も20代最後の節目となる年を迎えます。うねる時代に取り残されないよう研鑽に励み、蛇のように絡みついて行きたいと思います。

**長谷川雄教** (教務課 係長)

今年度は節目の40歳を迎え、小・中・高の同窓会も行われ、数十年ぶりの顔に再会してきました。みな様々に仕事をし、生活をしていて、刺激もあり感慨深くもありました。本当に久しぶりに旧交を温め旧友との交流を再開できてよかったなと思います。

今年には本学に入って17年目、教務課で15年目に入りましたが、教務課では通常の事務に加えて、機器の取り扱い、行事運営、プレゼン、ソフトウェアの構築などさまざまな経験をすることができました。これらの過程で自分の不足する部分を痛感させられると共に小学校から大学までの勉強とは違う学びがあり、また後輩への指導の必要など、さまざまに学習・教育をする経験を得ました。生涯学び続けることが必要だなと感じると共に、教師・教員という職業の人だけでなく、すべての人が「いかに後輩を教育するか(導くか)」ということも学んでいかなければならないのだな、と感じています。

2013年以降は、いかに学び、いかに教えるかを念頭において、常に研鑽を積み上げ、よりよいものを作り上げていくことを目指していきたいと思います。また一方で、時には息を抜きながら、バランスを大事に、生活を楽しんでいきたいと思っています。

**秦 暢宏** (千葉病院臨床検査部 副主任臨床検査技師)

暗い嵐の夜だった…って事もなく2012年は始まりました。私事としては2011年に子供が捕まえたカブト虫が卵を産み7匹のカブト虫(♂3匹♀4匹)が孵りました。そこに新たに捕まえたカブト虫を加え飼育していたところ卵を産み、30匹を超す幼虫が部屋にいます。加えて新たに捕ま







えたコクワガタのペアも産卵しそちらも孵化したので現在、水槽7つに大量の幼虫が蠢いています。少々気味が悪いです。このままだと幼虫に部屋を占拠されてしまうので2013年は計画的出産を心掛けようと思います。

臨床検査室としては老朽化していた機器を2台更新して頂きました。一台は血液凝固検査のCOAGTRON-180、もう一台は生化学検査のTBA c4000になります。どちらの機器も正確性、精密性共に良好です。特にc4000は汎用試薬の機器となりますので試薬選択の幅も広がり、新規導入した項目として血清亜鉛があります。亜鉛と言えば味覚障害ですが低下により創傷治癒不全も起きますので、治り悪いなといったときには依頼して頂けると幸いです（月一算定です）。長期目標としては検査技師会の友人も協力すると言ってくれているので細胞検査士にも挑戦してみたいかと…40代の手習いは険しそうですが頑張りたいと思います。

#### 原田愛聖（学生 第1学年）

東京歯科大学が、水道橋に教育の拠点を移行し始めました。この記念すべき年に入学した私は新生活への期待と不安でいっぱいだったことを覚えています。

去年は出会いの年であり、個性豊かな同級生、素敵な先輩方、尊敬すべき先生方と出会いました。私のさいかち坂校舎1期生としての生活は魅力的な活動に彩られ、一年を通して多忙を極め、充実した一年だったと思います。部活、延世大学交流会、東歯祭実行委員などの活動を経て多くの方と交流し、見聞を広める良い機会を得ました。

新年を迎え、今年は去年よりも飛躍できるような、更なる努力と発展の年にしたいと思います。今後とも皆様からの御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

#### 三浦直（口腔科学研究センター 准教授）

口腔科学研究センターに所属して4年目の2012年は、原著論文の発表や学会発表など充実した年でありました。

特に国際学会に参加、発表という貴重な機会を与えていただきましたことは、私にとって大きなイベントでした。

中国成都にて開催された日中歯科医学会では、学会参加のみならず、本学において留学経験のある第四軍医大学口腔医学院の先生方との交流会に参加する機会にも恵まれ、また普段接する機会の少ない先生方、大学院生との交流もでき、大変有意義でした。

成都での最も強い印象は、本学の研究が歯科医学研究領域において、国際的貢献度のきわめて高いものである点を改めて認識させられたことでした。

口科研インプラント学研究部門では、現在もいくつかの研究が進行しており、今年2013年夏に口科研としての水道橋移転も控えております。千葉キャンパスで出来るだけの準備をし、移転後にこれらの研究を形にするべく引き続き精進していきたいと思っております。

#### 望月隆二（物理学研究室 教授）

私の2012年を振り返るとき、やはり「さいかち坂校舎への移転」が最も大きなイベントでしたし、2013年を考えると、新1年生を含め2学年の学生をいかにうまくさいかち坂校舎に受け入れるかが最大の課題でありましょう。学生や保護者にとってみれば、施設やカリキュラムがうまくいって当たり前。一方、教職員にしてみれば、想定外をなくす努力をいくら重ねてもなくならない想定外。今年同様、来年も忙しい1年になるでしょう。そんな中で、おいしい昼食探しは稲毛



キャンパスでは味わえない楽しみでした。新しい店に入るときの高揚感、外したときの挫折感、期待通りだったときの満足感…って、そんな大げさなものではないのですが。来年夏から水道橋勤務になる皆様も是非お楽しみください。10分も歩けば安くておいしい店がたくさんあります。

### 茂木悦子（歯科矯正学講座 准教授）

♪千葉病院ロビーコンサート♪

千葉病院でも市川総合病院のようなロビーコンサートができたならー、と前々から思っておりましたが、昨年9月、ウイリアムス先生のご好意で、ご一家によるピアノコンサートを開催できました。当日は患者さんをはじめ、近隣の皆様の多数の来場者があり、大好評を博しました。その時のアンケートでまたやってほしいとのお声をいただき、ご希望の多かったジャズ演奏をこの1月26日に村田憲一郎（ドラムスS50年卒、ピアノ小杉雄一S52年卒、他）トリオを迎えて開催しました。プロ活動もしている彼らの演奏にご来場の皆さんはたいへん満足されたご様子でした。ロビーコンサートはサービス委員会、病院各課、施設課、矯正科等様々な部署のご協力で行うことができました。関係各位にこの場をお借りしてお礼申し上げます。今年はあとクラシックとポピュラーを1回ずつ開催できたらいいなと考えております。その際は早めにご案内しますので、学内の皆様もどうぞ病院ロビーを覗いてみてください。生演奏はエンジョイすることうけ合いです！

### 森田雅義（英語研究室 准教授）

昨年4月、新1年生の「さいかち坂校舎」での生活が始まり、東京歯科大学の新たな1ページが開かれました。私自身にとっても、大学以来、うん十年ぶりの東京通いとなりました。こうして再び



東京に通ってみると、良い意味でも悪い意味でも(???)、改めて東京という場所の凄さを感じます。単に人が多いだけでなく、ダイナミックで、バラエティーに富み、そしてとても刺激的です。ここ御茶ノ水・水道橋という街も、私の大学時代とは街自体はだいぶ変わりましたが、東京らしい、ガサガサとした雰囲気とか、匂いのようなものは変わっていない気がします。そんなところに、再び勤務することになったのも、何かの縁だと感じています。新しい場所で、新たな学生を迎え、今年一年も頑張っていこうと思います。そのためには健康第一ですけどね。昔とは違うので。

### 渡辺 賢（法人事務局 庶務係）

2012年は、東京歯科の長い歴史のなかで新時代の幕開けといってもいい水道橋回帰始動の年でした。本学が創立150周年になる頃には、私は定年の予定ですが、記念誌を作ることになったら、現在進行中の水道橋移転事業が東京歯科の重大な転機として記録されると思います。新生東京歯科誕生の歴史的瞬間に立ち会うことができ、大学職員として身の引き締まる思いです。

前回年頭所感を書いた教務課時代は、欲望のままに暴飲暴食を繰り返し、まったく健康に気をつけておりませんでした。12年経ち歳相応にガタがきていますので、本年の歴史的な大引越、またちょっと先の150周年の時もバリバリ働けるよう、少肉(酒?)多菜をころがけたいと思います。



## 学生会ニュース

### ■平成25年武道始め開催

平成25年1月11日(金)午後6時30分より、千葉校舎体育館第3体育室において、井出吉信学長、柳澤孝彰副学長、佐藤 亨学生部長並びに武道系クラブ部長やOB、関係教職員を迎えて、日本古来の伝統行事である「平成25年武道始め」が



武道始めで挨拶をする井出学長：平成25年1月11日(金)、千葉校舎第3体育室

挙行された。

川井 毅(3年、弓道部主将)の司会により開会され、井出学長、田崎雅和剣道部部長が挨拶を述べた後、柔道部、少林寺剣道部、弓道部、剣道部、空手道部の順に演武が披露され、今年1年の飛躍を誓った。



一点に集中し、力強い矢を放つ弓道部員：平成25年1月11日(金)、千葉校舎第3体育室

## 図書館から

### ■本学教員著書リスト

(本学の教員名が標題紙に記載されているものに限定)

柴原孝彦[ほか]編著 口腔外科治療失敗回避のためのポイント47 クインテッセンス出版, 2012

○本学教員の著書については、特に収集に努めております。著書発刊のおりには、図書館へ、ご一報くださいますようお願いいたします。

### ■水道橋校舎にて文献検索講習会開催

平成25年1月10日(木)午後6時20分より、水道橋校舎13階ルームBにて口腔健康臨床科学講座員を対象とした文献検索講習会を開催した。当日の参加者は34名で、医中誌Web、PubMed、Scopus、電子ジャーナル、文献管理ソフト、それぞれの概要と便利な検索方法について説明を

行った。参加者からは「初めて知る使い方があった」との声もあり、大変好評であった。図書館では、各種文献データベースの使用方法に関する、30分一コマの講習会を随時受け付けている。開催希望の方は図書館までお問い合わせいただきたい。



文献検索講習会風景：平成25年1月10日(木)、水道橋校舎13階ルームB

# ＜大学史料室から＞

## ■音楽会パンフレットおよび、アキルポ峰頂上の石の寄贈を受ける

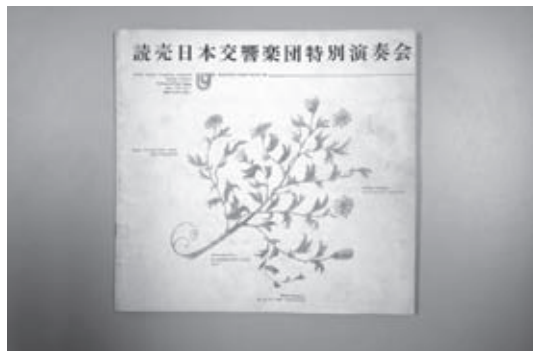
平成24年12月、東京都練馬区在住の神谷文彦先生（昭和41年卒）から、標記の資料をご寄贈いただいた。

昭和40年5月14日、同窓会創立70周年記念行事の一環として、学生会は同窓会と共催で、読売日本交響楽団特別演奏会を厚生年金会館ホールで開催した。学生会文化部長であった神谷先生など実行委員が計画を練り、準備に奔走して父兄会などの協力のもとようやく開催までに漕ぎつけた。当日は式典開始にあたりブラームス作曲「大学祝典序曲」、「東京歯科大学校歌」が演奏され、続いて福島学長および田丸同窓会長の挨拶があった。その後曲目演奏に移り、ウェーバー作曲「魔弾の射手」序曲など4曲が演奏され、感動のうちに音楽会は無事閉幕した。この音楽会パンフレットには楽屋で頂いた指揮者ペーター・マーク氏直筆のサインが書かれており大変に希少な資料である。裏表紙の内には神谷先生の筆で「東歯大音楽会開催に至るまでの熱意と誠意を忘れることはない。学生会文化部長として信念を貫く。」と当時の思い

が綴られている。

昭和43年7月12日、山岳部OB7名により編成されたペルー・アンデス遠征隊が、未踏峰ネバド・アキルポ（5,560m）の世界初登頂を果たした。さらに遠征隊はインカ帝国の遺跡をさぐり、古代インディオの顎骨や歯牙による文化人類学的研究および、アンデス山群の高所居住民の歯科・口腔検診などの学術調査をもなすとげ、日本とペルーの文化交流に偉大な功績をあげた。このアキルポ峰頂上の石は、隊員として遠征に参加した友人の朝浪惣一郎先生（昭和41年卒）へ神谷先生がリクエストしたアンデス土産である。底には「TDC山岳部OBペルーアンデス初登頂時記念石」と書かれたシールが貼られ、同胞の偉業達成の記念として大事に保管されていたことが窺える。ちなみに、神谷先生は卓球部OBである。

後日、朝浪先生からアキルポ峰などの写真資料もご寄贈いただいた。頂戴したこれらの資料は、大学行事の記録および同窓の偉大な功績の記念として大変貴重な資料であり、広く閲覧に供するとともに大切に保存し後世に伝えたい。



音楽会パンフレット



指揮者ペーター・マーク氏直筆のサイン



アキルポ峰頂上の石



ワラス（ペルー）での隊員記念撮影（右から朝浪惣一郎隊員、松島静吾副隊長、加藤喜代次隊員、依田雄弘隊長、渡辺富士夫団長、左から山口勝康隊員、酒井優隊員）

## 歯科衛生士専門学校ニュース

### ■歯科衛生士専門学校平成25年度第Ⅱ期推薦入学選考実施

平成24年12月15日(土)東京歯科大学歯科衛生士専門学校の平成25年度第Ⅱ期推薦入学選考が千葉校舎において実施された。募集人員40名のうち若干名を今年度2回目の推薦入学により入学させるものであり、本年は県内から16名、他県から1名の17名が高等学校長の推薦により、また社会人特別選抜には5名(県内から4名、他県から1名)、合計22名が受験した。選考内容は、高等学校長の推薦は書類審査と基礎学力検査および面接であり、社会人特別選抜は、自己推薦書および書類による審査と、小論文および面接であった。入学選考は、午前9時30分から始まり、午後12時にはすべてが終了した。

合格の発表については、12月17日(月)に開かれた選考委員会で決定され、同日付けで出身高等学校長および受験生本人に通知された。

なお、第Ⅱ期推薦入学選考は今年度初めて実施されたもので、今後もより多くの人が受験出来る機会を設け、より良い学生の確保に努めて行きたいと考えている。

### ■歯科衛生士専門学校平成25年度一般入学試験実施

平成25年1月19日(土)東京歯科大学歯科衛生士専門学校の平成25年度一般入学試験が千葉校舎において実施された。学科試験(英語・国語)および面接試験が行われるとともに、21日(月)には入試選考委員会が開催され、合否の結果が本人宛に郵送された。

平成25年度の一般入試志願者数は、12名(本県出身10名、他都道府県出身2名)で、昨年より8名の減少であったが、これは本年度より推薦入学試験を2回実施したことによると考える。しかし志願者数は募集枠を超えるものであった。これは、昨今の経済状況と就職難から国家資格取得(本校国試合格率100%)を目指す学生の増加と、高い就職率(本校就職率100%)が影響しているものと考えられる。

一般入試の学科試験は、英語・国語の2科目のみとし受験しやすい環境を整えている。来年度も引き続き学校説明会の充実、積極的な学校訪問の実施、ホームページの刷新、ポスターの製作・配付などを行い、より多くの受験生の確保に努めたいと思う。

歯科衛生士専門学校にとって、レベルの高い歯科衛生士教育を行うのに必要な優秀な学生を継続的に確保するためには、今後も地道な努力が必要であると考えている。

## 人物往来

### ■国内見学者来校

#### 千葉校舎・千葉病院

- さいたま柔整専門学校(学生114名、教員6名)  
平成25年1月18日(金)解剖学実習室、解剖標本室見学
- 太陽歯科衛生士専門学校(学生76名、教員3名)  
平成25年1月25日(金)解剖学実習室、千葉病院見学

#### 市川総合病院

- 日本歯科大学東京短期大学(学生3名)  
平成24年12月19日(水)口腔がんセンター見学
- 松戸市立新松戸南中学校(学生2名)  
平成25年1月17日(木)角膜センター見学

### ■海外出張

- 津坂憲政准教授(市病・内科)  
Seoul National University との共同研究について検討するため、平成24年12月2日(日)から3日(月)まで、韓国・ソウルへ出張。
- 白石 建教授、二宮 研助教(市病・整形外科)  
米国頸椎外科学会(CSRS)に出席、および発表のため、平成24年12月5日(水)から10日(月)まで、アメリカ・シカゴへ出張。
- 山本 仁教授(口腔超微構造学)  
慶北大学校歯科大学での講演のため、平成25年1月23日(水)から25日(金)まで韓国・大邱へ出張。

# 大学日誌

## 平成24年12月

- 1 (土) 大学院入学試験(Ⅰ期)  
市川市との医療救護活動合同訓練(市病)  
第2回水道橋病院カルテ記載に関するワーク  
ショプ(水病)
- 2 (日) 効果的な有床義歯補綴学教育のためのワーク  
ショップ[於：水道橋校舎]
- 3 (月) 臨床研修管理小部会  
防火・防災安全自主点検日
- 5 (水) 情報システム管理委員会  
リスクマネージメント部会  
ICT会議  
輸血療法委員会  
臨床検査部運営委員会  
教務部(課)事務連絡会  
大学院入学試験(Ⅰ期)選考委員会  
大学院運営委員会  
大学院研究科委員会  
臨床検査運営委員会(市病)  
口腔健康臨床科学講座会(水病)
- 6 (木) 感染制御委員会(市病)  
ICT委員会(市病)
- 7 (金) 大学院入学試験(Ⅰ期)合格発表  
木曜会クリスマス会(市病)
- 10 (月) 病院運営会議  
個人情報保護委員会  
医療安全管理委員会  
感染予防対策委員会(ICC)  
医局長会  
臨床教育委員会  
第118回歯科医学教育セミナー  
医療安全管理委員会(市病)
- 11 (火) 粗大ゴミの廃棄[～13日]  
歯科衛生士専門学校3年生卒業試験[・13日]  
後期定期健康診断(水病)  
給食委員会(水病)
- 12 (水) 褥瘡対策委員会(市病)  
リスクマネージメント部会(水病)  
薬事委員会(水病)
- 13 (木) カルテ指導委員会  
業務連絡会  
高度・先進医療委員会  
午後のリサイクル(市病)  
手術室運営委員会(市病)
- 14 (金) ICLS講習会(市病)  
平成24年度第2回医療安全講演会(市病)  
感染予防対策チーム委員会(水病)
- 15 (土) 入試ガイダンス[於：水道橋校舎]  
歯科衛生士専門学校推薦入学選考Ⅱ期  
患者サロン(市病)
- 16 (日) 受変電設備法定点検全館停電(水病)
- 17 (月) 1～4年生前期追・再試験[～20日]  
一般(Ⅰ期)・センター(Ⅰ期)願書受付開始  
[～1/28]  
医療安全研修会  
歯科衛生士専門学校1年生前期再試験[～25日]  
歯科衛生士専門学校推薦入学選考委員会  
環境清掃日  
危険物・危険薬品廃棄処理日  
電子カルテシステム運用管理委員会(市病)  
NSTカンファレンス(市病)

- 18 (火) 臨床教授連絡会  
講座主任教授会  
人事委員会  
OSCE小部会  
歯科衛生士専門学校教員会  
衛生委員会  
糖尿病ケアチームカンファレンス(市病)  
CPC(市病)  
千葉校舎課長会  
機器等安全自主点検日  
部長会(市病)  
医療ガス安全管理委員会(市病)  
医療安全管理委員会(水病)  
感染予防対策委員会(水病)  
個人情報保護委員会(水病)  
医療連携プロジェクト委員会(水病)  
科長会(水病)
- 21 (金) 予算委員会  
医療連携委員会  
センター試験係員合同説明会[於：千葉県立  
保健医療大学]  
歯科衛生士専門学校2年生前期再試験[～25日]  
1～4年生冬期休暇[～1/7]
- 25 (火) データ管理者会議  
カルテ整備委員会  
診療記録管理委員会  
26 (水) 歯科衛生士専門学校学生冬期休暇[～1/7]  
衛生委員会(水病)  
データ管理者会議(水病)  
病院連絡協議会(水病)  
診療録管理委員会(水病)  
27 (木) 管理診療委員会(市病)  
診療録指導委員会(水病)
- 28 (金) 仕事納め・学長挨拶(千葉校舎・市病・水道  
橋校舎)

## 平成25年1月

- 5 (土) 仕事始め(千葉校舎・市病・水道橋校舎)
- 7 (月) 学長年頭挨拶(千葉校舎・市病・水道橋校舎)  
教務部(課)事務連絡会  
臨床研修管理小部会  
防火・防災安全自主点検日
- 8 (火) 6年生第4回総合学力試験[～9日]  
1～4年生授業再開  
全体課長会  
予算事務打ち合わせ会  
歯科衛生士専門学校授業再開  
臨床実習委員会
- 9 (水) リスクマネージメント部会  
ICT会議  
基礎教授連絡会  
医療ガス安全管理委員会  
大学院運営委員会  
大学院研究科委員会  
リスクマネージメント部会(水病)  
薬事委員会(水病)  
臨床検査室委員会(水病)  
医薬品安全管理委員会(水病)  
医療機器安全管理委員会(水病)
- 10 (木) 4年生HBワクチン接種(3回目)  
カルテ指導委員会

10 (木)	センター試験各班説明会[於：千葉県立保健医療大学] 感染制御委員会(市病) ICT委員会(市病) 手術室運営委員会(市病) 口腔健康臨床科学講座会(水病)	19 (土)	歯科衛生士専門学校一般入学試験Ⅰ期患者サロン(市病)
11 (金)	臨床教授連絡会 講座主任教授会 全体教授会 人事委員会 総合講義検討委員会 平成25年武道始め ICLS講習会(市病) 感染予防対策チーム委員会(水病)	21 (月)	病院運営会議 個人情報保護委員会 医療安全管理委員会 感染予防対策委員会(ICC) 医局長会 臨床教育委員会 第119回歯科医学教育セミナー 歯科衛生士専門学校一般入学試験選考委員会 機器等安全自主点検日 地域連携委員会(市病) 医療安全管理委員会(市病) 電子カルテシステム運用管理委員会(市病)
15 (火)	振替授業(月曜日分) 大学院入学試験(Ⅱ期)願書受付開始[～2/22] 環境清掃日 危険物・危険薬品廃棄処理日 薬事委員会(市病)	22 (火)	4年生共用試験CBT・OSCE事前説明 医療連携委員会
16 (水)	学生部(課)事務連絡会 歯科衛生士専門学校一般入学試験Ⅰ期願書受付締切 輸血療法委員会(市病) 褥瘡対策委員会(市病) CPC(市病) 理事会(法人) 評議員会[臨時](法人) 水道橋病院3階高度歯科医療センター保存科・補綴科完成式(水病)	23 (水)	衛生委員会 情報システム管理委員会 糖尿病ケアチームカンファレンス(市病) 衛生委員会(水病) データ管理者会議(水病) 病院連絡協議会(水病) 診療録管理委員会(水病)
17 (木)	センター試験係員各班業務確認[於：千葉県立保健医療大学] 千葉校舎課長会 共用試験OSCE係員全体説明会 高度・先進医療委員会 診療録指導委員会(水病) 医療安全管理委員会(水病) 感染予防対策委員会(水病) 個人情報保護委員会(水病) 医療連携プロジェクト委員会(水病) 科長会(水病)	24 (木)	業務連絡会 教養科目協議会、部長会(市病) 災害対策実施部会(市病)
18 (金)	センター試験係員各班業務確認[於：千葉県立保健医療大学]	25 (金)	千葉病院ロビーコンサート
19 (土)	大学入試センター試験[～20日][於：千葉県立保健医療大学]	26 (土)	市病フォーラム第17回市民公開講演会(市病) 一般(Ⅰ期)・センター(Ⅰ期)願書受付締切 NSTカンファレンス(市病) 東京都エイズ診療従事者臨床研修(第1日目)(水病) 教職員研修会(水病)
		28 (月)	1～4年生後期授業終了 薬事委員会 データ管理者会議 図書委員会 カルテ整備委員会 診療記録管理委員会 東京都エイズ診療従事者臨床研修(第2日目)(水病)
		29 (火)	管理診療委員会(市病)
		31 (木)	

# 人事その他

## 東京歯科大学広報 編集委員

橋本貞充 (委員長)

阿部潤也 石塚順子 井上直記 上田貴之 内田篤志 王子田 啓 狩野龍二  
椎名 裕 高橋俊之 武本 桂 中村弘明 日塔慶吉 旗手重雅 古澤成博  
前田健一郎 百崎和浩 山本祐樹  
(平成25年1月現在)



### 編集後記

30年の時を経て、水道橋への回帰。いよいよ移転の年の始まりです。

その新たな2013年に向けて寄せられたたくさんの抱負…。人材育成の大切さ。ひとを育てることの難しさおよび。新しい環境の中での新鮮な感動。夢は持ち続けられなければならないということ。緊張と不安の中での登院。日々研鑽。周囲への感謝。はじけ飛ぶ白衣のボタン。四十の手習い。ロビーコンサートを実現したひとりの熱い思い…。

歯科医を天職にしたいという夢をもって入学した1年生の言葉がありました。彼女が直面した厳しい現実の中で、たとえ今は、それがイバラの道であったとしても、悩みながら、がむしゃらに走り続けたその先には、輝く未来の彼女がいると信じています。

新しい東京歯科大学を支えるひとり一人の言葉の中に、次の時代の希望があります。

千葉の校舎は、そこに集った数え切れないほどの学生達や教職員の“思い”が造りあげたものです。そして、毎日、施設課や掃除の人たちが心を込めて磨き、手入れをすることによって、今があります。新入生たちが希望と少しばかりの不安を胸に訪れ、喜び、悩み、涙し、そして、たくさんの思い出を残し、卒業生として校舎をあとにしています。

そんなたくさんの“思い”で磨き上げられた千葉のキャンパス。

校庭の樹木は、季節の移り変わりのなかで、葉を落とし、茂らせた枝を打ち、新しい春を待ちます。新たなものを生み出すための痛み。ターンオーバー。

これから始まる水道橋の新しい校舎は、どんな仲間達が磨きあげ、つぎなる歴史を重ねていくのでしょうか。

(広報・公開講座部長：橋本貞充)



「雪の日に…」

「ゆきはしんしんとすべてを真っ白にぬりつづき降り続きます。1月の凜とした空気の下で、樹木は枯れた枝の隅々に緑の新芽を溜め、じっと思いを抱きこんで、桜色のアーケードをつくる春の爆発を待っています。」